

令和6年度第1回倫理審査委員会報告

○ 目 的

衛生研究所の職員が実施する調査、研究、実験及び実習等が研究対象者の人権配慮、研究内容の説明と同意等、倫理的配慮の下で適切に行われることを目的として、倫理審査委員会による審査を実施しました。

○ 開催日 令和6年7月29日（月）

○ 倫理審査委員

委員長	浅岡 隆裕	立正大学文学部 教授
副委員長	村岡 忠博	衛生研究所 副所長（人事異動に伴い選出：前任者の残任期）
委員	守屋 利佳	北里大学医学部 教授
委員	香川 比洋	茅ヶ崎市民
委員	大久保 一郎	横浜市衛生研究所 所長
委員	関戸 晴子	衛生研究所 企画情報部長
委員	大屋 日登美	衛生研究所 微生物部長（オブザーバー参加）
委員	上村 仁	衛生研究所 理化学部長
委員	宮原 香代子	衛生研究所 地域調査部長

○ 審査対象研究課題

令和6年度から研究実施申請のありました人を対象とする医学系研究課題で、迅速審査の対象である2課題について審査を実施しました。また、報告事項として、令和6年度から研究実施申請のありました人を対象とする医学系研究課題で迅速審査を実施した1課題についての迅速審査結果報告、令和2年に承認を受けた1課題及び令和6年に承認を受けた2課題について申請のあった研究計画の軽微な変更の内容報告、令和3年度に承認を受けた3課題の研究終了報告を実施した。

○ 審査項目

- 1 研究の目的及び意義
- 2 研究によって生ずる危険性と学術上の成果の総合的判断などの科学的合理性
- 3 研究対象となる個人又は検査材の提供者の人権擁護などの倫理的合理性
- 4 試料・情報の入手方法

○ 審査結果

- 1 神奈川県で分離されたA群溶血レンサ球菌(GAS)UK系統株の流行解析
(令和6年度倫理審査 承認)
- 2 薬剤耐性淋菌およびMycoplasma genitalium感染症の動向解析及び効率的な実態把握と治療の確立に資する研究 (令和6年度倫理審査 承認)

https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/004_chousa/hitotaisho/hitotaisho_r06.html#no3

○ 承認を受けた課題の研究計画の軽微な変更

- 1 髄膜炎菌における新規分子疫学的解析法の開発（倫理審査 令和2年11月19日承認）
（令和7年3月31までの1年間の期間延長）
- 2 RSウイルス検査法に関する研究（倫理審査 令和6年2月7日承認）
（人事異動に伴う代表研究者、分担研究者の変更）
- 3 デジタル検出法を用いた公衆衛生の向上に資する研究（倫理審査 令和6年1月24日承認）
（退職に伴う研究責任者の変更）

○ 承認を受けた課題の研究終了報告

- 1 薬剤耐性淋菌および *Mycoplasma genitalium* 感染症に関する研究（倫理審査 令和3年9月27日承認）
（令和6年3月31日 研究終了）
- 2 ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランス及びワクチン効果の評価に関する研究（倫理審査 令和3年9月27日承認）
（令和6年3月31日 研究終了）
- 3 神奈川県における薬剤耐性結核菌の蔓延状況調査及び分子疫学解析（倫理審査 令和3年9月27日承認）
（令和5年3月31日 研究終了）